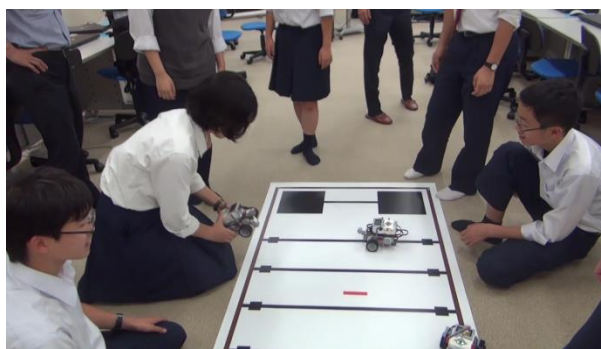


神奈川工科大学 高大連携講座 「ロボットの製作過程の体験的学習」

神奈川工科大学 ロボット・メカトロニクス学科 吉野和芳教授をお招きして、高大連携講座「ロボットの製作過程の体験的学習」を開講し、3年生1名、2年生10名が受講しました。

6月、7月、12月の計3回行われ、マインドストーム（レゴ社の教育用ロボット学習キット）を使ってロボットの仕組みを勉強し、グループに分かれてロボット製作にチャレンジしました。

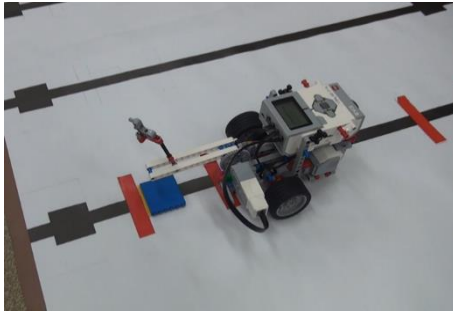


また、1月11日（土）には、神奈川工科大学で開催された高校生発表会に8名の生徒が参加し、各グループで作上げたロボットのプレゼンテーションを行いました。

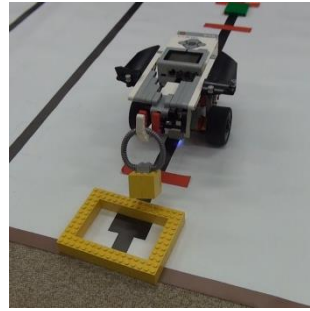


☆ 講座の内容

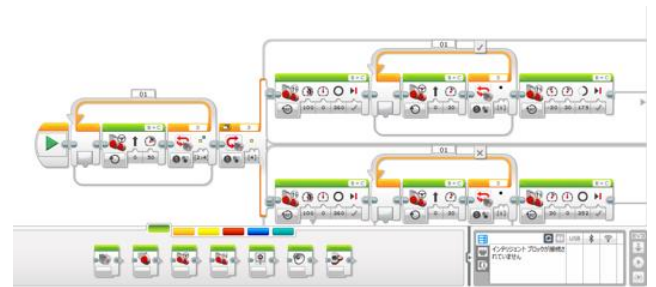
黒い線を読み取りながら移動



ブロックとシートの色を読み取り、
枠の中に入れる

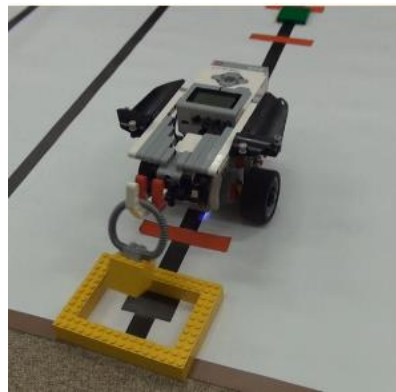
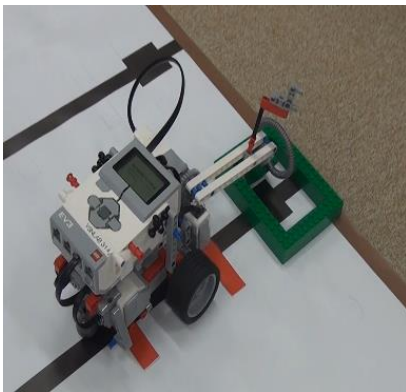


ロボットを動かすためのプログラミングは、パソコンの画面上で、プログラミングブロックを組み合わせて行います。簡単そうに見えますが、思ったようにロボットは動いてくれず、プログラミングは試行錯誤の連続でした。

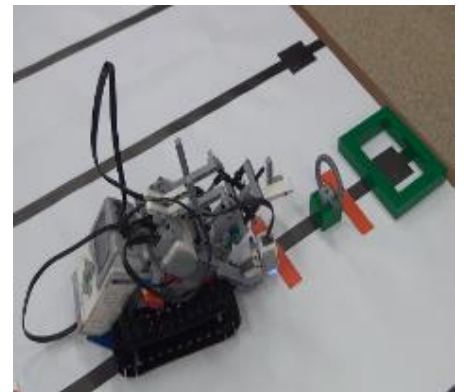


☆ 参加者の感想

かぶとむしくん



T.O.A



- ロボットの構造やプログラムを一から考えて、思い通りの形にするという作業は、大変だったが、とても達成感があった。
- プログラミングでは、ブロックを組み合わせながら何回も試行錯誤してつくるのが楽しかった。
- 他校の取組みをプレゼンテーションという形で理解することができた。ロボットが今後の私たちの生活の中で大切だということを改めて感じる良い経験になった。
- 他校の発表はレベルが高く、たくさんの考えや体験を聞いて面白かった。将来につなげられる内容でした。
- 私たちは4チームに分かれてロボットを作成してきたので、できれば1チームでもっと一体感を出したかった。発表会までみんな忙しく、あまり時間がなかったので、来年はタイムスケジュールを組んで余裕をもって再チャレンジしたい！